

◇被表彰者・被表彰グループ◇

【学長表彰】

被表彰者(団体)	団体	人数	所属・職名等	功績概要
小川 啓一			国際協力研究科 教授	JICAのイエメン女子教育プロジェクトを通じた国際・社会貢献と文部科学省の「国際協カイニシアティブ」教育協力拠点形成事業の研究プロジェクトに顕著な成果を収められた。上記プロジェクト等に参加した研究科の修了生は世界銀行やUNESCO等の国際機関へ多数就職した。イエメン教育大臣から感謝状を授与された実績もある。
のびやかスペースあーち 代表 伊藤 篤・津田 英二	○	7	人間発達環境学研究科 教授 他6名の教職員	「のびやかスペースあーち」とは子育て支援をきっかけにした、共生のまちづくりをめざす施設である(旧灘区役所のスペースを利用)。「子育て支援」及び「障害共生支援」の実践的研究を通して、多大な地域貢献・社会貢献を行った。
システム情報学研究科設置準備 室およびシステム情報学研究科 設置準備委員会 代表 森本 政之	○	10	工学研究科長 他9名の教職 員	理化学研究所の次世代スーパーコンピュータのポートアイランド設置が全国的に注目を浴びる中で、全国の大学・研究機関との連携を適切に構築し、システム情報学に係る人材育成体制を発足させ、本学の教育研究体制の進展に大きく寄与した。

【特別賞】

被表彰者(団体)	団体	人数	所属・職名等	功績概要
患者支援センター 代表 秋田 穂東	○	15	医学研究科(医学部附属病院) 教授 他14名の教職員	平成16年に設置されて以来、後方連携としての退院支援、前方連携としての紹介患者の受け入れ、地域医療機関とのネットワーク構築、患者やその家族からの多様な相談に対する医療ソーシャルワーカーと看護師による対応等を通して、患者家族への福祉の向上だけではなく、病院経営への貢献も行われている。
先端膜工学センター 代表 松山 秀人	○	15	工学研究科 教授 他14名の 教員	水の浄化・再利用の高度化や二酸化炭素の排出抑制など、環境・エネルギー問題の解決のためのキーテクノロジーとして膜工学が注目されている。先端膜工学センターは国内初の膜工学に関するセンターとして国内外に認知されており、文部科学省プロジェクト等を通して本学の教育・研究において多大な貢献をしている。
学術成果リポジトリ推進ワーキン ググループ 代表 中山 貴弘	○	7	附属図書館情報管理課電子図 書館係長 他6名の職員	神戸大学機関リポジトリ(データベース)である「kernel」を大きく飛躍させた。国立情報学研究所主催研修会への講師の派遣、県下の国公立大学図書館への機関リポジトリ構築支援を行うなど国内教育や地域貢献にも積極的に関わっている。また科研費の獲得、「Library of the Year2010」優秀賞受賞などの実績もある。
情報基盤センターネットワーク基 盤グループ 代表 鳩野 逸生	○	4	情報基盤センター 教授 他3 名の教職員	神戸大学情報ネットワーク(通称:KHAN2009)の企画検討・仕様策定・導入・運用に携わり、高性能で信頼性が高くコストパフォーマンスの良いネットワークを構築し、本学における教育、研究、業務、広報などの高度化と効率化に多大な貢献があった。